

# 第94期 事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

## 株式会社 BSNメディアホールディングス

証券コード：9408 東証スタンダード  
(旧社名 株式会社新潟放送)



### 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より当社事業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

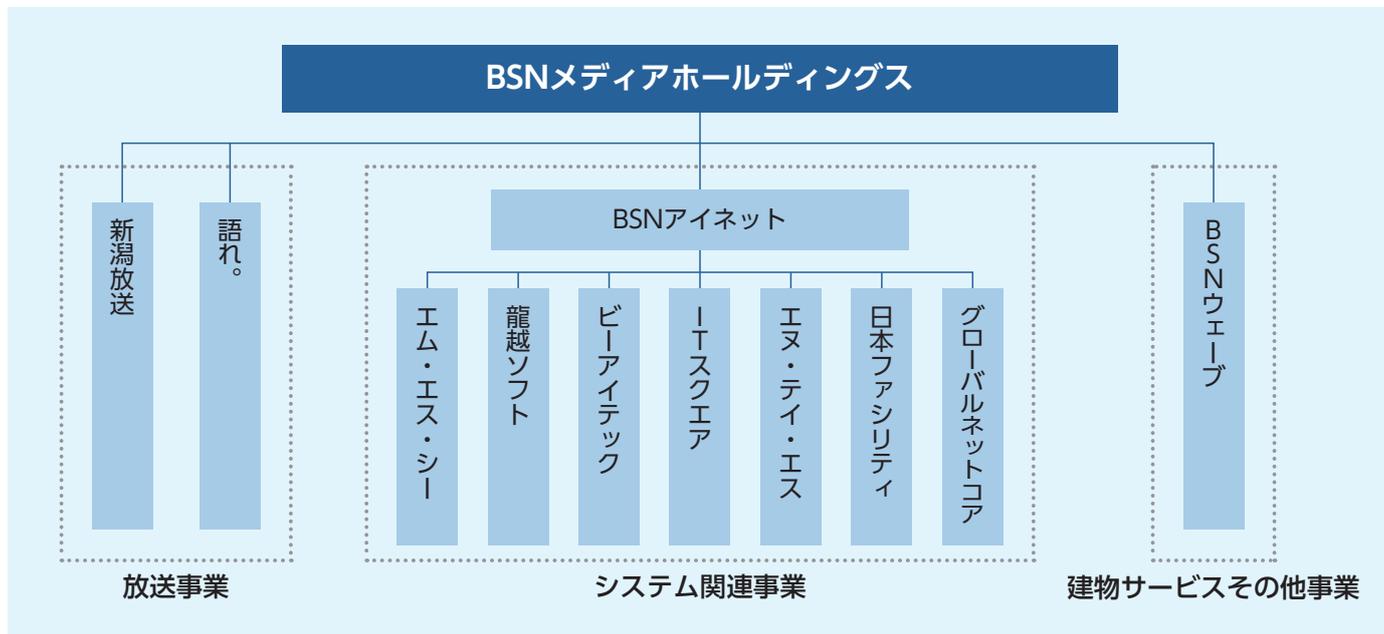
当社は、昨年6月に、BSNメディアホールディングスに移行しました。時代が大きな変革期を迎える中、持ち株会社化でグループの力を結集し、シナジーを生むことを目指しています。IT企業・施設管理会社などの業種を持っており、現在は、各社が集まり、グループ新規事業を進めております。BSNメディアホールディングスが目指すものは、ソリューション企業です。地域の抱える課題について情報を発信したり、問題を提起したり、解決方法を提示し、そこに住む人たちを幸せにするのが役割です。その地域になくてはならない企業となるよう努力してまいります。

なお、期末配当につきましては、1株につき3円75銭の普通配当とホールディングス発足の記念配当1円25銭を合わせて5円とさせていただきます。

今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
佐藤 隆夫



# 事業概況

## 放送事業

当連結会計年度における放送事業の収入は56億6千9百万円（前期比1.4%減）となり、営業利益は2億6千万円（前期比7.2%増）となりました。

当期は、既存のラジオ放送に加え、デジタルコンテンツにも力を入れた1年でした。ラジオ放送をパソコンやスマートフォン等で聴くradikoの再生数は、月平均100万回再生を超え、新潟県内のラジオ局で1位となっています。さらに、新しいオーディオコンテンツとして注目されるポッドキャストの配信も始めました。まだコンテンツ数は5つだけですが、再生回数の合計はローカル局では上位にランクされています。テレビ放送の自社制作番組では、「なじラテ。」（土曜午後0時10分～午後2時）が2023年度の世帯視聴率など3指標で同時帯1位を獲得し、また、13年目を迎えた「水曜見ナイト」（水曜午後7時～8時）も、前年に続き「長岡花火3時間SP」回において県民の長岡花火ニーズをしっかりと掴み、世帯視聴率27.2%を獲得しました。さらに「水曜見ナイト×なじラテ。」コラボ2h番組にも挑戦し、世帯視聴率19.5%を獲得。改めて当社の番組が新潟県民から支持されていることを認識できました。8年目を迎えた平日夕方のレギュラー番組「BSN NEWS ゆうなび」（月曜～金曜午後6時15分）は、「あしたをパッとカラフルに！」を番組コンセプトに、市民に身近で暮らしに役立つ情報提供に努めました。公平で正確な報道を心がけ、元日に発生した「能登半島地震」では地上波放送と並行してWEBサイト「BSN NEWS DIG」で情報発信の迅速化に努めました。その他の収入部門では、5月に新型コロナウイルスの5類移行で行動制限が緩和され、多様な催しをほぼ通常スタイルで開催することができました。5月8日のプロ野球公式戦「横浜DeNAベイスターズ対読売ジャイアンツ」では、多くのファンに「声出し、をしながら一流のプレーを堪能していただきました。観客数は約2万2,000人、1試合開催としては過去最高の収益をあげることができました。今期はBSNアプリ・WEB・YouTubeなどのデジタル領域でユーザー数を増やし、広告収益の増大を実現できました。このうちBSNアプリはダウンロード数が12万を超え、WEBとアプリの広告収入は昨年同月比で4倍に伸ばしました。また、テレビ関連コンテンツはYouTube上で多くの視聴回数を記録し、視聴者と広告主の双方に好評価されるビジネスモデルが実現できました。テレビやラジオの広告価値を高める「プラス・デジタル」を今後もさらに強化してまいります。

## システム関連事業

当連結会計年度における売上高は161億2千9百万円（前期比0.9%減）となり、営業利益は10億3千1百万円（前期比24.2%減）となりました。

システム関連事業におきましては、ITサービス市場で、生産年齢人口の減少があらゆる業種での課題となっており、業務改革や競争力強化を目的としたデジタルトランスフォーメーション（DX）への意欲は根強く、ITサービスへの需要は拡大基調が続いております。また、ChatGPTに代表される生成系AIが急速に拡大しているように、新しいIT技術の普及による新たなビジネスの創出も市場の成長を牽引しており、今後も様々な分野でのイノベーションが活性化されていくことが予想されます。このような状況のもと、「信頼される技術集団として、社会やお客様と価値共創型企業をめざします」をVisionとして掲げ、「事業力の強化」「技術力の強化」「経営基盤の強化と人材の高度化」を重点施策として事業に取り組んでおります。

## 建物サービスその他事業

当連結会計年度における売上高は17億6千9百万円（前期比5.2%増）となり、営業利益は6千万円（前期比19.8%減）となりました。

建物サービスその他事業におきましては、業務内容は多岐にわたり、管理部門では駐車場経営・賃貸マンション管理・損害保険代理店・車両運搬業務、メディア部門ではBSNテレビ・ラジオの番組制作、施設管理部門では商業施設・事務所ビルの建物総合管理・建築工事、営業推進部門では広告業務・指定管理業務を行っています。各部門の目的と責任の明確化、営業力強化、業務の効率化を目的として3本部・12部体制に組織を改正し、受注の拡大に努めてまいりました。施設管理部門では新たに事務所ビルの管理業務を受託したことや管理受託先の設備交換工事やテナント入退去に伴う原状復旧工事などを受注し増収となりました。利益面では業務効率を改善し社内コストの削減を図りましたが、工事資材高騰による仕入原価増加の影響を受けました。



BSNテレビ 水曜見ナイト



プロ野球公式戦 2万人の歓声エコスタに！



(株)BSNアイネット 地方自治情報化推進フェア出展



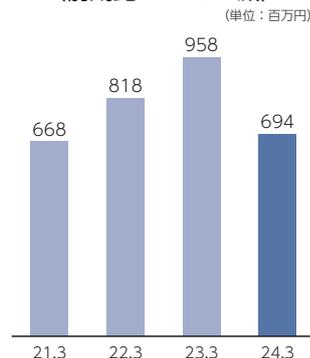
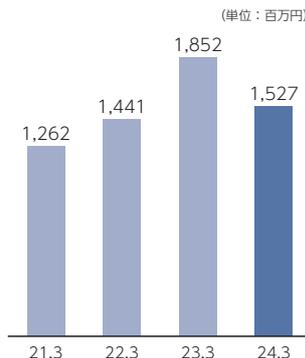
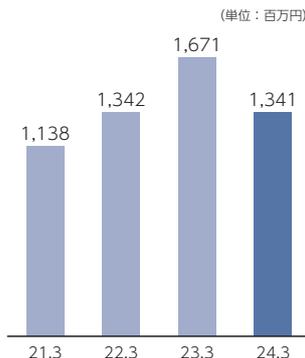
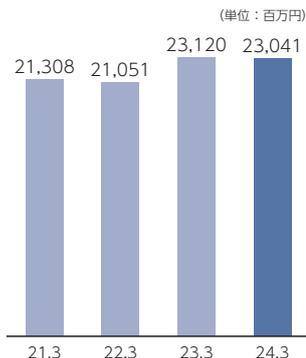
(株)BSNウェーブ 施設管理

売上高 23,041百万円  
(前期比 0.3%減)

営業利益 1,341百万円  
(前期比 19.7%減)

経常利益 1,527百万円  
(前期比 17.5%減)

親会社株主に帰属する  
当期純利益 694百万円  
(前期比 27.6%減)



## 財務概要

### ■ 連結貸借対照表 ■ (単位：千円)

科目	前期末 2023年3月31日	当期末 2024年3月31日
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	14,724,043	15,355,732
固定資産	13,038,354	16,207,740
有形固定資産	7,042,597	7,105,632
無形固定資産	327,550	304,439
投資その他の資産	5,668,206	8,797,668
資産合計	27,762,397	31,563,473
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	4,909,932	4,837,594
固定負債	1,206,765	2,452,918
負債合計	6,116,697	7,290,512
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	18,527,517	19,161,531
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	18,222,571	18,856,756
自己株式	△805	△974
その他の包括利益累計額	314,793	2,065,578
非支配株主持分	2,803,389	3,045,851
純資産合計	21,645,700	24,272,961
負債・純資産合計	27,762,397	31,563,473

### ■ 連結損益計算書 ■ (単位：千円)

科目	前期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	当期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	23,120,244	23,041,864
売上原価	16,505,357	16,957,987
売上総利益	6,614,886	6,083,877
販売費及び一般管理費	4,943,688	4,742,174
営業利益	1,671,197	1,341,702
営業外収益	213,361	202,650
営業外費用	32,424	16,955
経常利益	1,852,135	1,527,398
特別利益	100,466	9,995
特別損失	48,675	49,464
税金等調整前当期純利益	1,903,926	1,487,929
法人税、住民税及び事業税	566,128	422,011
法人税等調整額	39,260	117,280
当期純利益	1,298,537	948,637
非支配株主に帰属する当期純利益	340,163	254,464
親会社株主に帰属する当期純利益	958,373	694,173

## トピックス I

### グループ合同で新人研修会

昨年6月にBSNメディアホールディングスが発足して以降、グループ内で様々な共同事業を進めてきました。そして、今年4月、グループ全体で合同新人研修会を初めて実施しました。6つの企業から合計31名の新入社員が一堂に会しました。社会人としてのマナー講座では、礼儀作法とともに学びました。社会人としてのスタート時に、お互いを知ること、グループ共同事業のコミュニケーションもよりスムーズになることを期待しています。



BSNグループ 合同新人研修会

## 会社概要 (2024年6月20日現在)

社名	株式会社BSNメディアホールディングス BSN MEDIA HOLDINGS,INC.
創立	1952年10月
資本金	3億円
本社	新潟市中央区川岸町3丁目18番地
事業	放送法による基幹放送事業及び一般放送事業 美術、音楽、スポーツの企画、製作、販売 テレビ、インターネット等広告代理店業務 コンピューターに関するソフトウェア開発 労働者派遣業務、保険代理店業務 建物設備の電気工事・管工事の設計施工

## 株式の概況 (2024年3月31日現在)

◆ 発行可能株式総数	10,000,000 株
◆ 発行済株式総数	6,000,000 株 (自己株式1,215株を含む)
◆ 株主数	828 名
◆ 大株主	

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社新潟日報社	852,800 株	14.2 %
越後交通株式会社	579,050	9.6
株式会社TBSホールディングス	485,000	8.0
光通信株式会社	449,200	7.4
株式会社第四北越銀行	289,600	4.8
第四北越リース株式会社	256,500	4.2
学校法人国際総合学園	195,000	3.2
サトウ食品株式会社	136,000	2.2
株式会社UH Partners 2	133,800	2.2
株式会社エスアイエル	125,400	2.0

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## BSNHD役員 (2024年6月20日現在)

取締役会長	梅津 雅之
代表取締役社長	佐藤 隆好
専務取締役	島田 俊泰
取締役	南雲 明
取締役	和野 征
取締役	佐藤 道宏
取締役	殖栗 正基
取締役	新山 敏
取締役	山中 敏
取締役	阿部 賀
監査役(常勤)	小瀬 野
監査役	
監査役	
監査役	

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、中間配当を実施する場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
単元株数	100株
◆お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324

## ◆重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
	百万円	%	
(株)新潟放送	100	100.0	放送法による基幹放送事業
(株)BSNウェブ	85	100.0	建物管理及び不動産業
(株)BSNアイネット	200	65.5	システムインテグレーション等 ITソリューション関連事業
(株)ビーアイテック	50	65.5	ITインフラ環境の総合サービス IT運用サポート・保守サービス
(株)ITスクエア	80	56.3	コンピューターシステムの企画 経営合理化等に関するコンサルタント
(株)エム・エス・シー	50	65.5	医療保険請求事務等の受託 及び派遣

## トピックスⅡ

### ワールドメディアフェスティバルで金賞

株式会社新潟放送が制作したドキュメンタリー番組『劇場にて 舞踊家金森穂と新潟 (英題: On Stage)』が「ワールドメディアフェスティバル2024」で、ドキュメンタリー部門 (Documentaries Arts and Culture) の金賞を受賞しました。新潟放送の受賞は初めてです。

この作品は新潟市のりゅーとぴあ専属舞踊団「Noism Company Niigata」と、佐渡の太鼓芸能集団「鼓童」との初競演を描いたドキュメンタリーです。Noism芸術総監督で演出・振付家の金森穂さんの創作の過程に密着し、地方都市に公共劇場が存在する意義や、そこで生み出される芸術の価値とは何かをテーマに制作しました。

(英語版制作: TI ComNet)



「劇場にて 舞踊家金森穂と新潟 (英題: On Stage)」